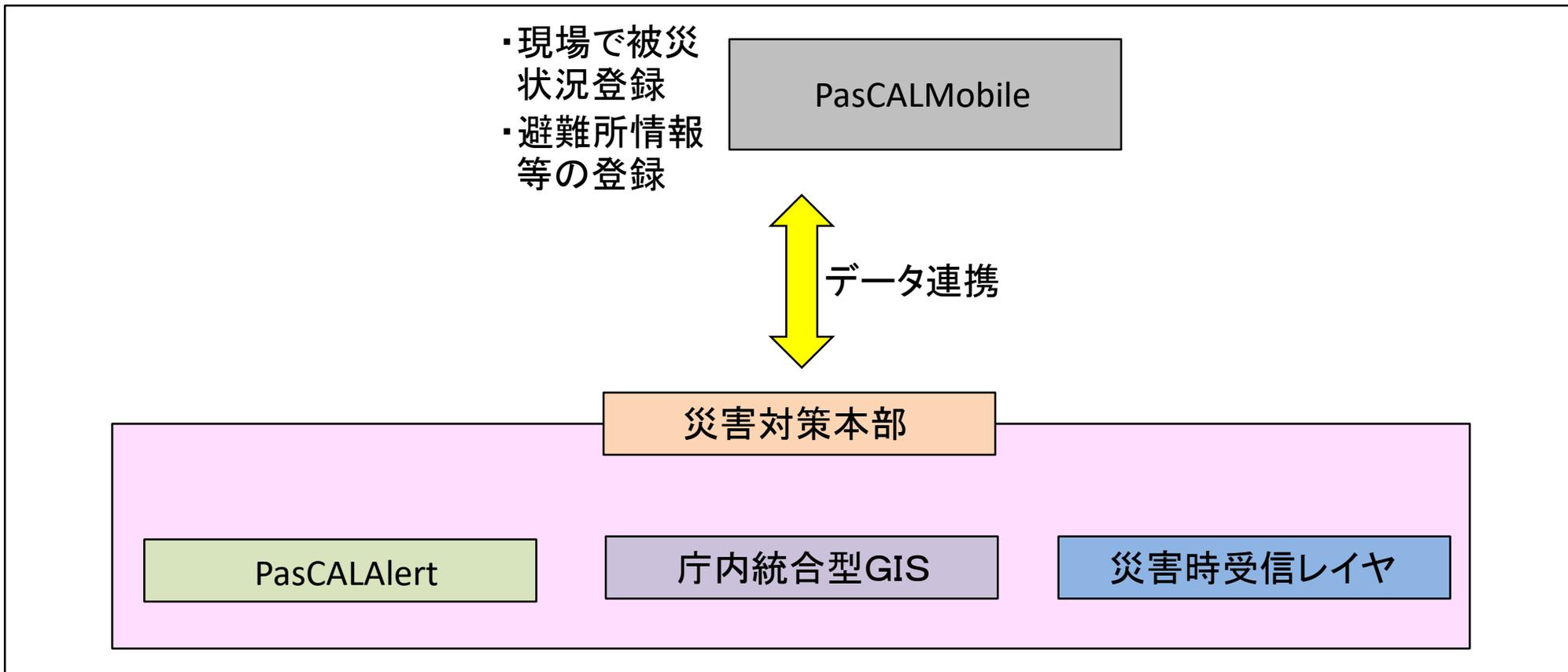


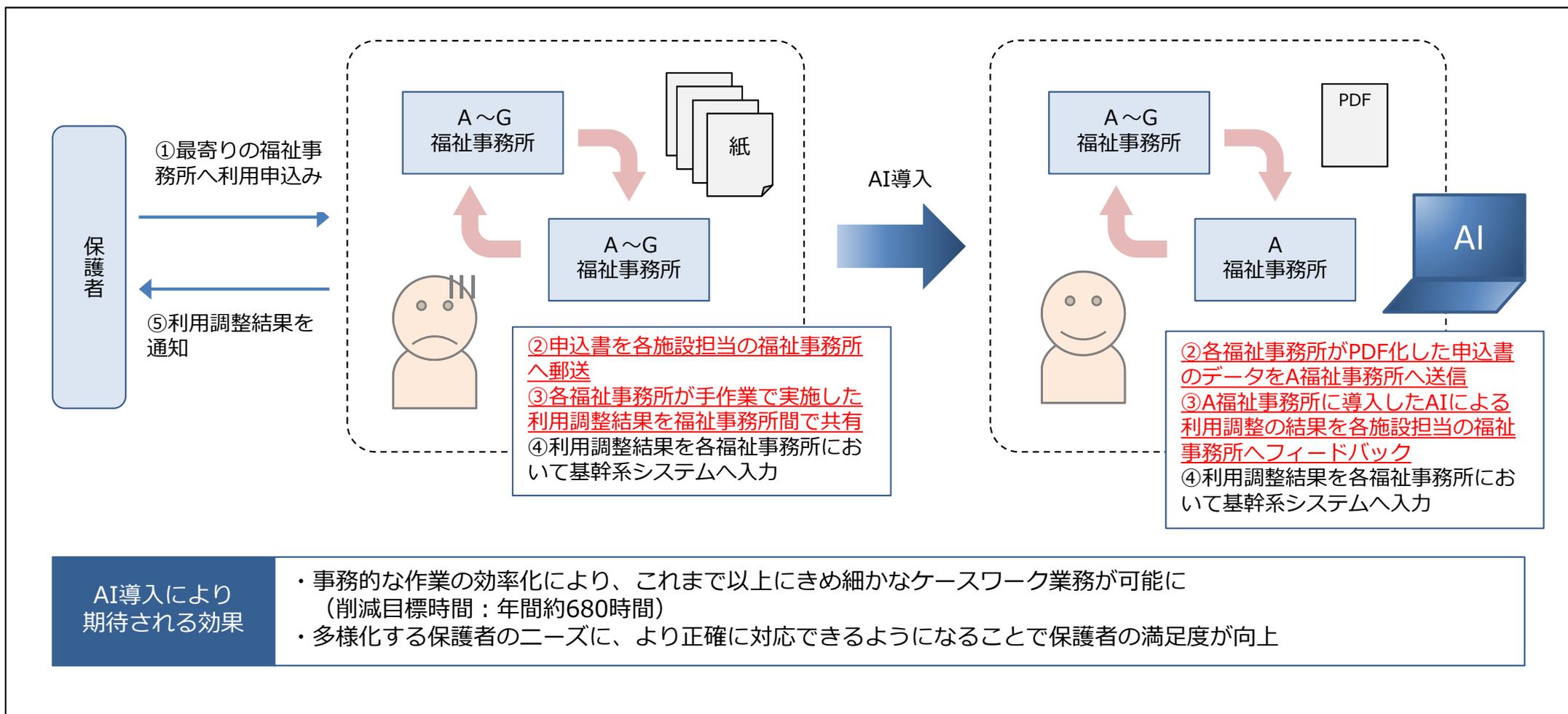
# 県域統合型GISを活用した防災システム導入事業

|      |                        |        |           |
|------|------------------------|--------|-----------|
| 提案者  | 恵那市                    |        |           |
| 実施地域 | 恵那市                    | 分野別モデル | G空間防災システム |
| 事業概要 | 県域統合型GISを活用した防災システムの導入 |        |           |



# 保育所等利用調整業務AI活用事業

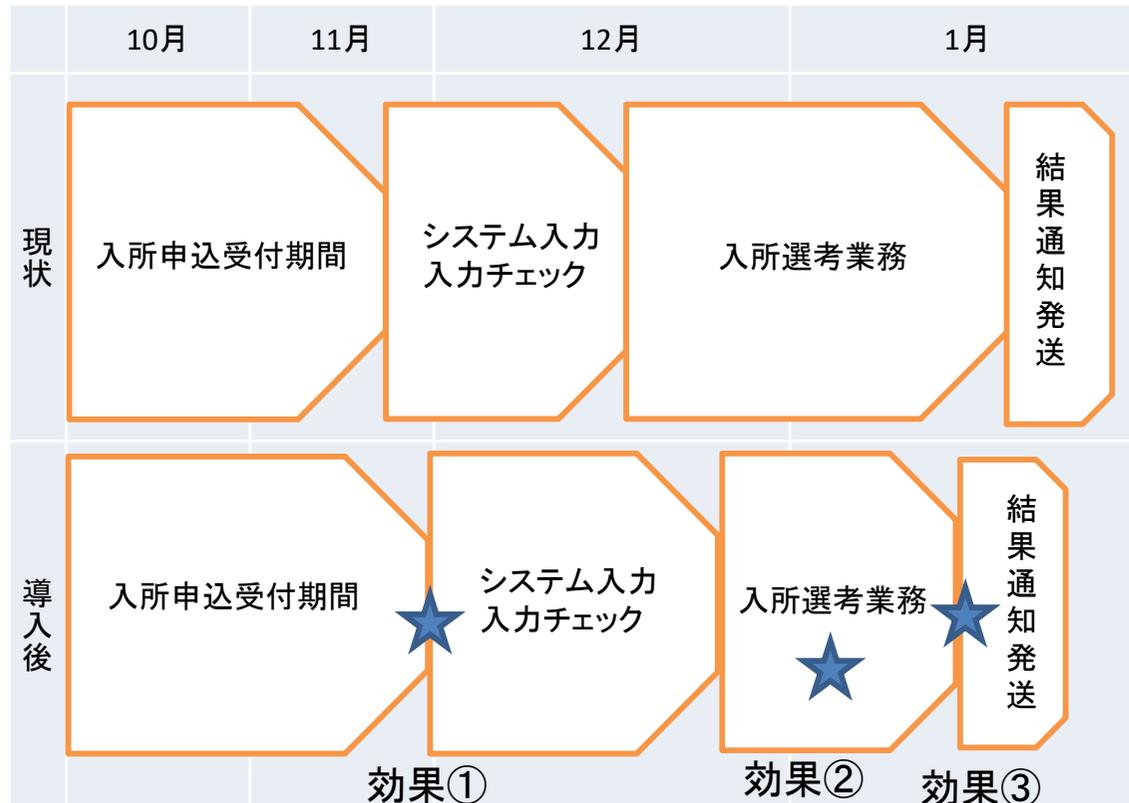
|      |  |        |          |
|------|--|--------|----------|
| 提案者  | いわき市こどもみらい部こども支援課  |        |          |
| 実施地域 | いわき市   | 分野別モデル | 保育所マッチング |
| 事業概要 | 広域である本市において、市内7か所の福祉事務所間で横断的に実施している保育所等の利用申込み及び利用調整業務にAI等を導入することで、事務的な作業の効率化や、より保護者のニーズにマッチした保育所等の利用促進を図ります。 |        |          |



# 保育所入所AI選考システムの導入

|      |  |        |                 |
|------|--|--------|-----------------|
| 提案者  | 東京都杉並区   |        |                 |
| 実施地域 | 東京都杉並区   | 分野別モデル | AIによる保育所入所マッチング |
| 事業概要 | 保育所入所AI選考システムの導入により、入所選考業務にかかる時間が600時間短縮される。その結果、住民サービス向上や、職員の超過勤務削減などさまざまな効果が期待できる。 |        |                 |

## 4月1次入所申込スケジュール



## 4月1次入所選考の課題

- ・入所申込受付期間が短く、保護者がじっくり検討できない。
- ・短期間に申込みが集中し、窓口が混雑する。
- ・入所選考業務に時間がかかるため、超過勤務や休日出勤で対応している。
- ・結果通知発送まで時間がかかるため、認可保育所に入所できなかった保護者が次のステップに進めない。



## 保育所入所AI選考システム導入の効果

- 効果① 入所申込受付期間を1週間程度延長できる。
- 効果② 入所選考業務にかかる時間を約600時間短縮できる。
- 効果③ 結果通知発送を5日程度早めることができる。

# 共同利用AI-OCRによる帳票処理事務の業務効率化

|      |   |        |        |
|------|---|--------|--------|
| 提案者  | 株式会社電算  |        |        |
| 実施地域 | 佐久市、小布施町、青木村  | 分野別モデル | AI-OCR |
| 事業概要 | AI-OCRを利用し帳票処理事務の業務効率化を実施。またシステムの共同利用により大幅に導入コストを削減。これにより低コストで業務時間の短縮を実現。 |        |        |

## 課題

- 申請書や出先の勤怠情報などの紙媒体から、各業務システムへ取込を行うための電子データへの変換・入力作業に多くの時間や人件費を要している。
- 多くの紙媒体について、保存場所の把握や保存年限に従った廃棄処理が煩雑となっている。
- AI-OCR及び文書管理システムなどの導入も検討しているが、単独団体での導入はコストが高額となってしまう。

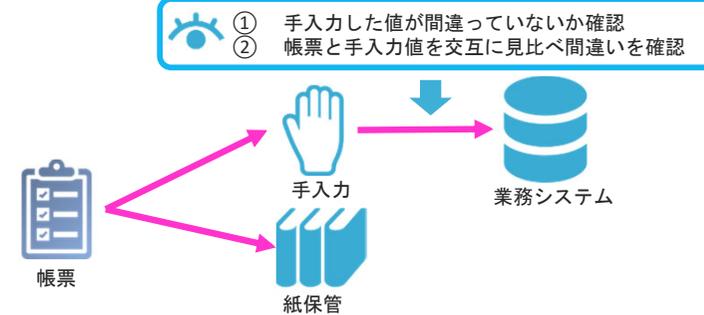
## 取組

- AI-OCRにて、紙媒体の帳票をテキストデータ化し業務システムへの連携を行うことにより、職員の入力作業の削減を図ります。
- 紙帳票をPDF化することでペーパーレス化の推進を図り、庁内の電子データでの管理・運用を促進します。
- 共同利用型AI-OCRの共同調達を前提に、帳票データの入力作業や確認作業等の業務プロセスを見直し、運用の最適化、帳票の標準化を図ります。

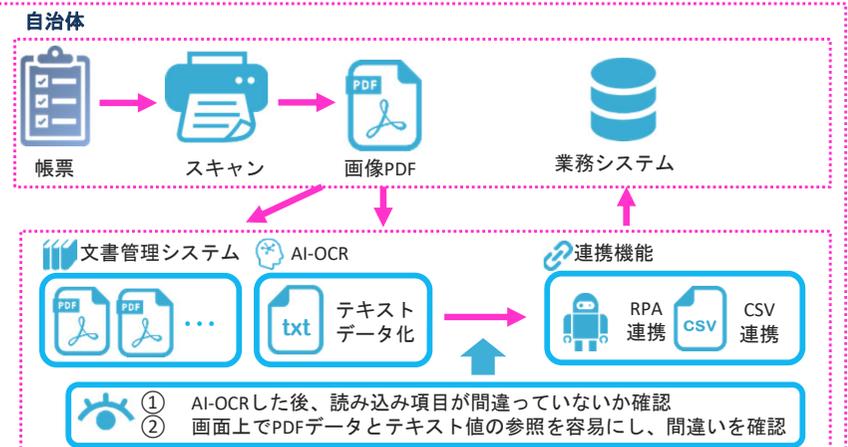
## 成果

|                      | 従来                        | 導入後                     |               |
|----------------------|---------------------------|-------------------------|---------------|
| 帳票処理事務               | 約280時間/年                  | 約200時間/年                | 約30%<br>工数削減  |
| 共同利用による導入コストの削減      | 初期：約11,800千円<br>月額：約315千円 | 初期：約3500千円<br>月額：約100千円 | 約70%<br>コスト削減 |
| 各自治体の業務プロセス及び帳票レイアウト | 各自治体で異なる                  | 運用の最適化及び帳票の標準化を実現       | 標準化<br>推進     |

## 従来

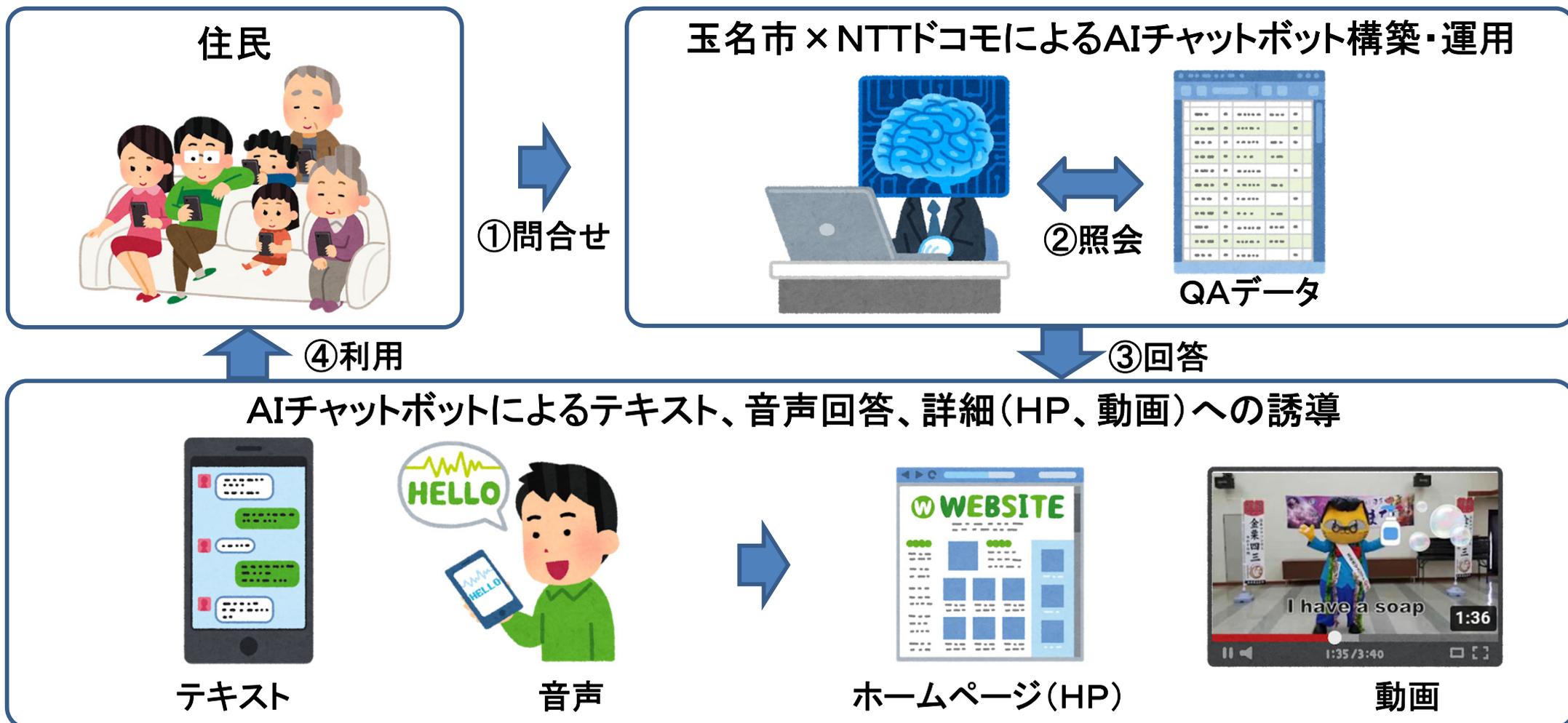


## 導入後



# AIチャットボットによる住民問合せ自動応答の構築

|      |   |        |         |
|------|---|--------|---------|
| 提案者  | 株式会社NTTドコモ  |        |         |
| 実施地域 | 熊本県玉名市  | 分野別モデル | チャットボット |
| 事業概要 | 自治体への問い合わせは窓口や電話での対応の割合が高く、本来業務に割くべき時間への負担となっている。加えて、新型コロナウイルス感染症対応として、非対面・非接触を基本とした問い合わせ対応が喫緊の課題であるので、AIチャットボットによる自動対応の導入を目指す。 |        |         |



“みえるまち 海の玄関“で息吹く 食・歴史文化・自然・産業人財との連携によるクリエイティブ・コミュニティ創出事業  
**テレワークプレイス構築プロジェクト**

|             |  |               |                   |
|-------------|--|---------------|-------------------|
| <b>提案者</b>  | 株式会社ウエダ本社  |               |                   |
| <b>実施地域</b> | 京都府 与謝野町   | <b>分野別モデル</b> | <b>働き方(テレワーク)</b> |
| <b>事業概要</b> | 天橋立の奥座敷、旧料亭を活用し「テレワークプレイス」として再生させ、クリエイティブ・コミュニティの創出による「新産業・創業機運の醸成」を高める。 |               |                   |



- 若者人財の不足
- 子育て世代女性のICT・IoT活用率の低さ
- 増え続ける空き家・空き店舗
- 衰退する産業(織物業等)



**■イノベーションによる地域資源の商品化**

- 商品開発(六次産業化商品等)
- デザイン開発(パッケージ、ロゴ等)
- 子育て世代女性の仕事創出

**■インキュベーション機能(学生・スタートアップ企業)**

- 地元企業との連携による新産業の研究開発

**■熱意ある学生の誘致・起業支援**

- 連携企業への就職、起業

**当地域の「テレワーク先行事例」をつくり、町内にテレワークや創業を支援する施設が生まれることにより横串を刺し、働き方改革を押し進め、共感する都市部事業者と地域内事業者との連携により、新産業・創業機運の醸成を高める。**